

改題 第 73 号

2007年 6月 11日

飯田橋だより

○発行 東京清掃労働組合

一組本庁支部

○編集 山崎 精一

一組総支部 教宣部主催

ボウリング大会！

昨年3月に清掃従事職員互助会が廃止になり、その下にあった文化体育会がなくなりました。4月からは特別区職員文化体育会に参加できるようになっていますが、まだ一組内の各文化体育会が整備されていないため、文化体育活動に参加する機会が奪われているのが現状です。

東京清掃としての文化体育活動を強化することが問われています。また一組段階でもかつての工場協議会で行っていたものを継続し発展させようということが確認されています。

6/27 東京ポートボウルへ

その第一弾として一組総支部主催のボウリング大会が4面のおり開催されます。6月27日(水)午後3時集合、3時30分開場、場所は田町の東京ポートボウルです。2ゲーム、プレーでき、個人戦で23位まで豪華賞品が出ます。各支部12人まで申し込みますので、6月23日までに執行委員、支部委員に申し出るか、組合掲示板のポスターに氏名を記入してください。

区派遣職員の皆さんもどうぞ

東京清掃の組合員かどうかは問いません。一組に働く全ての人の親睦と交流の場としたいので区の派遣職員の方も奮って参加してください。ゲーム代は総支部負担ですので、参加者の金銭的負担はありません。ただし、年休での参加となります。

9月には野球大会も予定されており、総支部教宣部で準備を進めていますので、楽しみにして下さい。

悲願の実現へ一歩

設管と事務の採用を！

6月7日、一組総支部は一組当局に対して設備管理職員の採用と任用制度改善、事務職員の採用と区派遣職員の固有化の要求を提出しました。【 2, 3面の要求書参照 】

□ 設管の採用と任用改善 □

設備管理職員の採用は工場労働者の長年の一致した要求です。一組発足以来7年、一部の区の技能職員の異動はありましたが、設備管理職員の新規採用はありませんでした。毎年退職する設備管理職員の補充は行われず、技能を伝承すべき対象もなく、将来に希望を持っていない状態が続いてきました。組合は設備管理職員が工場運営にとって技術職員と同様に不可欠の職種であり、一組として採用と育成なしには工場の安全と安定した運営はありえないことを主張し続けてきました。この度、副管が「設備管理職員の採用問題」を今年度の重要課題であることを表明しました。これを受けて次のような具体的要求をまとめ提出しました。

- 設備管理職員を新規採用すること。
- 現在、【職種】技能VI、【職務】設備管理となっているのを設備管理という独立した職種とすること。
- 行政職員への特例転職により技術補助職として位置づけること。
- 能力認定試験による行政職員への登用を活用すること。

□ 事務の採用と固有職員化 □

事務職員についても一組運営にとって無くてはならない職種であり、事務職の固有職員が全部で13人しかいない現実を指摘して、その一日も早い採用を要求しました。また現実的な策として、一組に残り清掃事業に従事することを希望している区の派遣職員が固有職員になれる路を作るよう要求しました。

この要求に対して一組当局は「みなさんに何らかの成果が報告できるよう精力的に取り組んでまいり所存であります。」と前向きな決意を表明しました。